

平成14年度 農業農村整備事業予算政府案 概算決定のポイント

平成13年12月24日
農林水産省農村振興局整備部

・ 農業農村整備事業概算決定額

9,242億円(対前年度比85.8%)
うち「重点7分野」6,131億円

・ 農業農村整備事業概算決定額の主な内訳

1. 農村の総合的な整備 1,169億円(対前年度比92%)

都市との「人・もの・情報」の循環が可能となる新たなむらづくり
(むらづくり維新)の推進

- ・ 都市と農村が共生・対流する社会を実現するため、「きれいな空気」、「美しい自然」、「都市と変わらない生活」、「都市の持つ魅力へのアクセス」を備えた新たなむらづくり(「むらづくり維新プロジェクト」)の積極的な推進に向け重点配分
- ・ 「むらづくり維新プロジェクト」の核事業として、「むらづくり基盤整備事業」を創設(一期の5年間で450地区、総事業費5,600億円)

【主な事業】

むらづくり基盤整備事業	132億円(皆増)
農村振興総合整備事業(むらづくり基盤整備含む)	135億円(110%)
中山間地域総合整備事業(むらづくり基盤整備含む)	637億円(93%)

2. 農業水利施設の整備・更新 1,625億円(対前年度比92%)

農業水利施設の整備・更新・管理を通じた健全な水循環系の再構築

- ・ 流域における水量、水質、自然環境を保全するため、4万kmを越える膨大な農業水路網等を整備し、健全な水循環系を再構築
- ・ 水循環系の再構築のため、更新時期を迎えた農業水利施設の計画的な整備・更新・管理に重点配分

【主な事業】

国営かんがい排水事業	1,045億円(96%)
水資源開発公団事業	128億円(85%)
土地改良施設管理	142億円(99%)

(問い合わせ先)
農村振興局整備部設計課企画班
印藤 久喜(内4816)
志村 和信(内4817)

3 . 畑地の整備

1,271億円(対前年度比90%)

地域特性に応じた野菜生産のための特別対策を緊急に実施

- ・野菜生産への特別対策として、生産対策と連携しつつ、産地強化を図る弾力的な整備を実施
- ・野菜・果樹産地の強化に向けた畑地の整備に重点配分

【主な事業】

畑地帯総合整備事業	450億円(89%)
国営かんがい排水事業(畑地かんがい)	530億円(96%)
国営農地再編整備事業	63億円(96%)

4 . 水田の整備

1,325億円(対前年度比86%)

意欲と能力のある経営体の育成と経営コストの削減に向けた取り組みの強化

- ・露地野菜、果樹、施設園芸の担い手や法人化を目指す集落営農を担い手の類型として明確に位置付け
- ・多様な整備手法の導入により、平成22年に汎用田134万haを確保するために必要な整備量を確保

【主な事業】

ほ場整備事業(担い手育成型)	791億円(86%)
国営かんがい排水事業(基幹排水)	164億円(96%)

5 . 農業集落排水

1,137億円(対前年度比85%)

農村地域の水と有機性資源の循環利用の促進

- ・農業集落排水資源循環統合補助事業を創設し、堆肥化施設等の計画的な利活用により処理水と有機性資源の循環利用の促進を図る事業に転換
- ・平成14年度以降は、全地区農業集落排水資源循環統合補助事業で採択
- ・実施段階のコスト縮減により必要な整備量を確保

【主な事業】

農業集落排水統合補助事業	1,052億円(79%)
農業集落排水資源循環統合補助事業	85億円(皆増)

6 . 農道の整備

1,023億円(対前年度比82%)

「人とももの」の流通ネットワークの早期実現

- ・完了間近な地区への重点配分と、必要整備水準の見直しによるコスト縮減を行い、1地区当たりの事業費を確保
- ・平成12年度の農道事業の見直しによる徹底したスリム化を踏まえ、真に必要とされる地区に重点配分

【主な事業】

農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業 316億円(85%)

7 . 防災対策

951億円(対前年度比87%)

農地の防災から地域社会に貢献する広域的な防災対策への転換を推進

- ・地域住民に対し、農地防災事業の地域防災としての効果等を広く情報提供
- ・地域防災としての効果も踏まえて、緊急性、効率性についての客観的な指標等の導入により農地防災事業を重点的、効率的に実施し、地域社会に貢献する広域的な防災対策への転換を推進

【主な事業】

国営総合農地防災事業 323億円(99%)

直轄地すべり事業 60億円(90%)

農地防災事業 354億円(81%)